



アクセンチュアの受賞実績

2022 年

・ アクセンチュア ソングがエージェンシー・オブ・ザ・イヤー2022 にて金賞 3 つ受賞

広告・ブランドコミュニケーション業界を牽引し優れた実績を残した企業を表彰する「[エージェンシー・オブ・ザ・イヤー 2022 日本／韓国](#)」（Campaign Asia-Pacific 主催）にて、[アクセンチュア ソング](#)が「デジタルエージェンシー・オブ・ザ・イヤー」、「コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」、「インテグレートッドマーケティングエージェンシー・オブ・ザ・イヤー」の金賞を受賞したほか、「E コマース・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」の銀賞、ピープル部門でも 5 つの賞を受賞しました。

顧客接点を起点とした企業変革をより広範かつ本質的に支援するために行ったアクセンチュア インタラクティブから[アクセンチュア ソング](#)（Accenture Song）への組織変更を含め、強化された提供価値やビジネス成長に貢献する取り組みの実績を評価されての受賞となりました。

<エージェンシー部門>

「デジタルエージェンシー・オブ・ザ・イヤー（日本）」金賞

「コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー（日本／韓国）」金賞

「インテグレートッド（統合的）マーケティングエージェンシー・オブ・ザ・イヤー（日本／韓国）」金賞

「E コマース・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー（日本／韓国）」銀賞

<ピープル部門>

「エージェンシー・ヘッド・オブ・ザ・イヤー」：執行役員 Accenture Song 統括本部長 黒川順一郎

「チャネル／エンゲージメント・プランナー・オブ・ザ・イヤー」：Accenture Song マネジャー 棚田悠介

「クリエイティブパーソン・オブ・ザ・イヤー」：[Droga5 Tokyo](#) グループクリエイティブディレクター 杉山元規 ※アジア太平洋地域で活躍する若き才能として 2022 年の「[40 Under 40](#)」（Campaign Asia-Pacific 主催）にも選出

「ニュービジネスデベロップメント（新規事業開発）・パーソン／チーム・オブ・ザ・イヤー」：ソング本部 インダストリー チーム

「ヤング・ビジネス・リーダー・オブ・ザ・イヤー」：Accenture Song マネジャー 佐藤里菜

「ストラテジック／ブランド・プランナー・オブ・ザ・イヤー」ショートリスト入り：Accenture Song マネジャー 武田靖子



アクセントチュア ソングは顧客接点を起点とした全社変革を通してビジネス成長を支援



執行役員 Accenture Song 統括本部長 黒川順一郎



Accenture Song マネジャー 棚田悠介



Droga5 Tokyo グループクリエイティブディレクター 杉山元規



Accenture Song マネジャー 佐藤里菜



Accenture Song マネジャー 武田靖子

● 「PRIDE 指標 2022」において 7 年連続「ゴールド」を受賞

アクセントチュアは、任意団体 work with Pride により策定された「PRIDE 指標 2022」において、最高評価の「ゴールド」を 2016 年から 7 年連続で受賞しました。

PRIDE 指標は、性的マイノリティに対する企業等の取り組みを評価する指標で、評価項目は「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度・プログラム」「社会貢献・渉外活動」の 5 つです。そのすべての基準を満たした企業に「ゴールド」が授与されています。

アクセントチュアは、性的指向や性自認などの性的価値観を含むマイノリティな個性に対する障壁を取り除き、すべての社員にインクルーシブな環境を保障するための取り組みを推進しています。詳しくは[こちら](#)。



• OUTstanding LGBT+ Role Model Lists 2022 に 2 名選出

職場における LGBT+インクルージョンを通じて、ビジネスの多様性と変革を推進しているリーダーとアライ（支援者）を紹介する取り組みであり、INvolve 社（本社:英国）が毎年公開している「OUTstanding LGBT+Role Model Lists」の 2022 年度版において、アクセンチュア・ジャパンから 2 名が選出されました。

職場の多様性と変革を推進するリーダーを選出する「Ally Executives」部門では、インクルージョン&ダイバーシティ LGBTQ Pride 日本統括であり、テクノロジー コンサルティング本部 マネジング・ディレクターの篠原 淳が、次代を担うリーダーを選出する「Future Leaders」部門では、LGBTQ アライ・コミティでチームリードを務め、社内外で積極的に活動続ける新島 恵理子（Accenture Song マネジャー）がそれぞれ選出されました。

アクセンチュア ジャパンではすべての社員にとって働きやすい環境を目指し、ジェンダー、障がいのある方、LGBTQ、クロスカルチャー、Well-being の領域で活動を行っています。

これからもこの 5 つのイニシアチブ全体で、真の Equality を実現すべく取り組みを加速させていきます。



• 2022 年度 ポーター賞受賞

ポーター賞」の名前は、ハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授に由来します。製品、プロセス、経営手腕においてイノベーションを起こし、これを土台として独自性がある戦略を実行し、その結果として業界において高い収益性を達成・維持している企業を表彰するために 2001 年 7 月に創設されました。

アクセンチュアは、2022 年度のポーター賞を受賞しました。

受賞理由は、幅広い領域をカバーする各事業部が密に連携し大規模な DX/CX サービスを迅速に提供している点、社員にコアバリューや情報共有を徹底し人材育成をしている点、自社のサービスの成果を評価する独自の指標、360° Value Meter を開発し、包括的な企業価値向上に取り組んでいる点などがあげられています。

詳しくは[こちら](#)。



・ イーデザイン損保の「&e（アンディー）」が 2022 年度グッドデザイン賞を受賞

イーデザイン損保がアクセントとコラボレーションし開発・構築した共創型自動車保険「&e（アンディー）」が、2022 年度グッドデザイン賞を受賞しました。データを活用した事故のない世界を社会全体で共創する仕組み作りなどが評価されました。

デジタルネイティブ世代をメインターゲットに 2021 年 11 月にサービス提供を開始した共創型自動車保険「&e」は、顧客（保険契約者）を取り巻く環境や一人ひとりのニーズの変化に寄り添うことができる新しい自動車保険サービスです。アクセントはこれらの顧客体験設計から業務プロセス改革、&e のサービス設計、UI/UX のデザイン、システム開発までを全般にわたり支援いたしました。

アクセントのイーデザイン損保「&e」の支援については[こちら](#)

2022 年度グッドデザイン賞の受賞について詳しくは[こちら](#)（外部サイト）



Oracle Certification Award 2022

日本オラクル株式会社がオラクル認定資格取得者を数多く育成した企業を表彰する Oracle Certification Award 2022 において、アクセントは Oracle Cloud Applications (SaaS) 認定資格部門で 1 位を受賞しました（4 年連続 1 位）。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



● KDDI の「My au アプリ」が 2022 年度グッドデザイン賞を受賞

KDDI 株式会社とアクセントゥア、株式会社 ARISE analytics が共同開発し 2021 年 2 月にリニューアルした「[My au アプリ](#)」が、2022 年度グッドデザイン賞を受賞しました。顧客の声をもとに仮説検証を繰り返し、求められている情報をシンプルに表現したことが評価されました。

「My au アプリ」は通信データや利用料金だけでなく、エンタメ・金融・でんき・ガスといった日常生活にまつわる au サービスの情報を一元管理できるアプリです。リニューアルに際しては事業担当、デザイナー、エンジニアのチームが所属企業の枠を超えて共創。ユーザーインタビューから導き出された「必要な情報と手続きをアプリ内で完結」「目的到達までのステップを最小限に」「シンプルな情報設計」という点を重視し、顧客ごとに最適化された情報を最適なタイミングで届けるアプリ体験を実現しました。全プロセスで「顧客との対話」を貫徹し、プロトタイプテストで仮説の検証・改善を繰り返すことで直感的に必要な情報を得られる UI/UX を実現したことや、それが顧客満足度の向上につながっている点が評価されての受賞となりました。リリース後も定期的に定量・定性の調査を実施し、顧客理解による改善が続けられています。

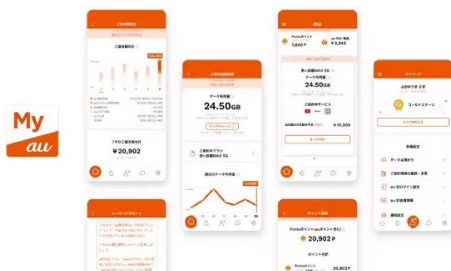
同時に、モダンアーキテクチャとアジャイル開発体制を導入し、デザインのガバナンスを変革。My au で定義した UI/UX をデザインシステムとして適用することで、一貫した体験を素早く顧客に提供できるようになりました。

これからも au ブランドが掲げる「おもしろいほうの未来へ。」向けて共創を続けてまいります。

アクセントゥア ソングのデザインスタジオ Fjord Tokyo について詳しくはこちら

KDDI のパーソナル事業におけるデジタル変革支援についての概要は[こちら](#)

2022 年度グッドデザイン賞の受賞について詳しくは[こちら](#)（外部サイト）



● ニッポンハムグループ「Table for All 食物アレルギーケア」が 2022 年度グッドデザイン賞を受賞

日本ハム株式会社が[アクセントゥア ソング](#)と立ち上げた新規 D2C 事業のひとつ、食物アレルギーケア総合プラットフォーム「[Table for All 食物アレルギーケア](#)」が 2022 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

Table for All はニッポンハムグループの Vision2030「たんぱく質を、もっと自由に。」を体現するウェルネス事業として構想され、「Table for All 食物アレルギーケア」はその第一弾として 25 年以上にわたり続けられてきた食物アレルギーへの取り組みを統合・進化させた総合プラットフォームです。2022 年 2 月 17 日のウェブサイト公開以来、ブランドコンセプト「みんなの食べたいによりそう。」を基に、「信用できる情報がほしい」「専門家に気軽に相談したい」「おいしいアレルギーフリー食品を入手したい」「同じ悩みを持つ仲間とつながりたい」というニーズに応える“知る→相談する→食べる→つながる”体験をワンストップで支えるサービスを提供しています。Vision2030 の策定からサービス提供まで、ニッポンハムグループとアクセントチュア ソングは強力なパートナーシップをもって推進。戦略を立案するコンサルタントチームとブランドコンセプトを開発するクリエイティブチームの協働が発揮されたことに加え、[Droga5 Tokyo](#) のクリエイティブは取り組みの大きな原動力となりました。

生活に寄り添い食物アレルギーケアを提供する本プラットフォームは国内食品業界初の試みで、食物アレルギーと向き合う人々の心にポジティブに寄り添う取り組みを表す優しさ・親しみを感じさせるデザインと分かりやすい UI/UX の他、商品や情報に加えオンライン栄養相談へのアクセスを提供するなど総合的なサービスデザインの可能性への期待も加わり受賞となりました。

Table for All はより多様な食へのニーズに応えるため、多くの声を集め、同じ思いをもつ企業と協業しながら拡充される計画です。

新規 D2C 事業の支援内容について詳しくは[こちら](#)

「たんぱく質を、もっと自由に。」を具現化する新規 D2C 事業の構想から立ち上についてプロジェクトのメインメンバーが振り返る座談会記事は[こちら](#)（外部サイト）

2022 年度グッドデザイン賞の受賞について詳しくは[こちら](#)（外部サイト）



- **Microsoft Japan Partner of the Year 2022**

マイクロソフト ジャパンが日本のパートナー企業を対象に、この 1 年で特に優れた実績を築き上げ、お客様からの厚い信頼を獲得したパートナーに授与する Microsoft Japan Partner of the Year 2022 において、アクセンチュアとアバナードは Social Impact category – Inclusion Changemaker アワードを受賞しました。Azure を基盤にした 新しいソーシャルインパクトと、持続可能性のあるチェンジメーカーとして革新性のあるソリューションが評価されました。



- **矢崎総業と共創した「次世代型トラック向け HMI デザイン」Unreal Engine HMI Design Challenge 最優秀作品に選出**

矢崎総業株式会社とアクセンチュアが共に提案した次世代 HMI（Human Machine Interface）コンセプト「プロフェッショナル ドライビングパートナーHMI」が、国際コンペティション「Unreal Engine HMI Design Challenge 2022」においてグループ部門の最優秀作品（Group Winner）に選出されました。

今年初めて開催された Epic Games と Car Design News の共催による本コンペティションは、リアルタイム CGI 技術を用いた新しい発想による HMI デザインを社会に提示することを目的としています。審査員には世界中の大手自動車企業が名を連ね、30 カ国以上から 200 件を超える応募がありました。

矢崎総業とアクセンチュアは、重大事故の大部分を占める商用トラックの事故原因に着目。この課題の解決が交通事故のない社会に大きく貢献すると考え、トラックドライバーと運送事業者の双方の視点から課題を整理・推定しました。課題設定から体験デザインを構想したアクセンチュア ソングのプリンシパル・ディレクター石原祐一は、「従来の機能表示にインフォテイメントも融合し、ドライバーの心理的な負担の軽減や働くモチベーションの向上、運送事業者の安定的な運搬計画の策定と実行に寄与する 6 つの HMI をデザインしました。情報を先回りして豊かに伝えることで可能になる、全てのドライバーが安全に楽しく働ける未来像を広く示すことができ意義深いと感じています」とコメントを寄せています。

これらを高いクオリティの CGI で表現したコンセプトムービーは、「ゲーミフィケーションとデジタル空間デザインにおけるアイデアが秀逸な、最も未来志向の作品。すべての応募作品の中で最も完成されている」と評価されました。本プロジェクトを CGI 制作の面でリードしたアクセンチュア ソングの CG クリエイティブ・ディレクター河野康一は、「矢崎総業の皆様と目指す新時代の安全運転のありかたを表現した本コンセプトを高く評価いただけたこと大変嬉しいです。ドライバーの安心・安全・快適な運転につながる複数のアイデアを、思い描いたグラフィックをすぐに実装することができるゲームエン

ジン「Unreal Engine」で表現しました。デジタル技術を活用した交通事故のない社会に向けた取り組みをこれからも矢崎総業様と推進していきたいです」とコメントを寄せています。

CGI 技術がもたらすビジネス価値について詳しくは[こちら](#)

矢崎総業株式会社のプレスリリースは[こちら](#)（外部サイト）

Unreal Engine HMI Design Challenge を特集した Car Design News は[こちら](#)（外部サイト）



[Hidetaka Sugimoto & Team's Submission | Unreal Engine HMI Design Challenge 2022 動画を見る](#)

● Salesforce Japan Best Partner of the Year 5 年連続受賞、国内 5 冠達成

セールスフォース・ジャパンが、国内 500 社以上のパートナー企業から、この 1 年で特に優れた成果や実績を挙げた企業に授与する Salesforce Partner Award 2022 において、アクセンチュアは 5 年連続となる「Best Partner of the year」をはじめ、下記 5 つの賞を受賞しました。

- Japan Partner of the Year <Consulting Partners>
- Industry of the Year <Retail & Consumer Goods>
- Japan Partner of the Year <Commerce Cloud>
- Japan Partner of the Year <大企業部門>
- Japan Partner of the Year <MuleSoft>

【セールスフォース・ジャパンからのコメント】

今年で 5 年連続の受賞となるアクセンチュア様は、日本 No.1 パートナーとしてトップレベルからのコミットメントに加え、[専門家チーム](#)との強固な連携により昨年度もセールスフォースビジネスに多大なる貢献をいただきました。

金融・通信メディア業界に加え、製造業、流通サービス業などあらゆるインダストリーにおける大型案件のクローズや、各インダストリーソリューションや新製品への投資、700 名を超える資格者数への拡大やパートナー様エコシステムへの貢献など、まさにセールスフォースビジネスを牽引するベストパートナー様としてご活躍いただきました。

また、MuleSoft や Tableau においても売上規模案件、資格者数共に日本トップの実績を上げられています。

アクセンチュアのセールスフォースビジネスについて詳しくは[こちら](#)

Salesforce Partner Award 2022 について詳しくはこちら（外部サイト）



・「2022 APN ALL AWS Certifications Engineers」13 名が表彰

「2022 APN ALL AWS Certifications Engineers」プログラムにおいて、アクセントチャ所属の下記 13 名が表彰を受けました。

- Ziru Li
- 岡 智也
- 神澤 英輔
- 小池 智貴
- 澤田 拓也
- 末松 直樹
- 関根 陸
- 高橋 悠輔
- 積田 優生
- 徳嶋 佳子
- 仲村 勇亮
- 原野 昌幸
- 森 工

2022 APN ALL AWS Certifications Engineers プログラムは、AWS Partner Network (APN) に参加している会社に所属している AWS エンジニアの内、2022 年 3 月時点で正式リリースされていた AWS 認定資格 11 種をすべて保持しているエンジニアが表彰される制度です。

詳しくは[こちら](#)。



2022 APN ALL AWS Certifications Engineer

- **2022 Japan AWS Partner Ambassador / 2022 APN AWS Top Engineers
に選出**

WS Japan が審査し選出される「APN AWS Top Engineer Program」プログラムにおいて、アクセントチュアの田原 聖也が 2022 APN AWS Top Engineers (Security)に選出、アクセントチュアの岡 智也が 2022 APN AWS Top Engineers (Service)に選出されました。岡 智也は、同時に 2022 Japan AWS Partner Ambassadors にも選出され、こちらは 4 年連続の受賞となります。

アクセントチュアは、今後も会社を超えてパブリックに技術力を発揮する活動に積極的に取り組み、そこで得た知見をお客様のビジネスの成功に活用していきます。

詳しくは[こちら](#)。



2022 APN AWS Top Engineer

- **みんなの銀行が 2022 年度 D&AD アワードを受賞**

株式会社[みんなの銀行](#)とアクセントチュア ソングのデザインスタジオ Fjord Tokyo が設計したみんなの銀行のブランド体験が、国際的なデザイン・広告賞として知られる D&AD アワードのブランディング分野において銀賞に相当する「Graphite」を受賞しました。なお、デジタルデザイン部門とイラスト部門においてはショートリスト入りを果たしています。

イギリスの非営利団体 Design & Art Direction は創設の 1962 年以來、クリエイティブ業界の発展のためコミュニティ形成や新しい世代の育成に関する様々な活動を行っています。D&AD アワードでは、世界のクリエイティブ業界を代表する 400 名以上の審査員が創造性の促進に貢献する作品を複数の分野において厳選しました。

みんなの銀行は、ターゲットユーザーであるデジタルネイティブ世代が親しむソーシャルメディア上での体験や使い心地をヒントに、操作性や提供サービスとユーザーの間の摩擦を徹底的に無くす「フリクションレスな体験」を実現。また、ビジュアル面ではシンプルなスタイルを好むユーザーに寄り添うよう白と黒のモノトーンで統一しています。これらがデジタルネイティブ世代の価値観を反映したブランド体験として総合的に評価されました。

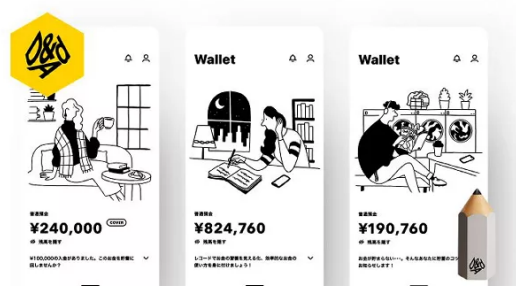
デザインをリードした柳太漢は次のコメントを寄せています。「みんなの銀行の皆様と追求したユニークで新しい銀行体験を、審査の厳しさから"世界で最も受賞が困難なデザイン・広告賞"と評される本賞に評価いただき大変嬉しく思います。これからも優れた顧客体験の創出を通して、ビジネス成果に貢献していきたいです」

Fjord Tokyo について詳しくはこちら

D&AD アワード受賞について詳しくは[こちら](#)（外部サイト）

デザイナーによるみんなの銀行の詳しい紹介は[こちら](#)（外部サイト）

みんなの銀行の事例紹介は[こちら](#)



● みんなの銀行のモバイルアプリが 2022 年度 iF デザインアワードを受賞

株式会社みんなの銀行と[アクセントチュア ソング](#)のデザインスタジオ Fjord Tokyo が共同開発した[みんなの銀行](#)のモバイルアプリケーションが、"世界三大デザイン賞"のひとつに数えられる [iF デザインアワード](#)のコミュニケーション分野において「アプリ/ソフトウェア部門」と「プロダクト & サービスブランディング部門」の各賞を受賞しました。

ドイツのハノーバーに拠点を置く非営利団体 iF International Forum Design が主催する iF デザインアワードは 1953 年以來、優れたデザインを選出しデザインの社会における重要性を発信し続けています。iF ロゴは優れたデザインの証として広く認知されており、今年度は約 11,000 件の応募に対して 9 つの分野（製品、パッケージング、コミュニケーション、サービスデザイン、アーキテクチャ、インテリア、プロフェッショナルコンセプト、UX、UI）で専門家による厳正な審査が行われました。

みんなの銀行はデジタルネイティブ世代をターゲットユーザーに設定し、アプリ完結型でシンプルなお金の管理や支払いを実現。モノクロとイラストを起用したミニマルなビジュアルデザインや、SNS 等を通じて寄せられた「声」を継続的にサービスに反映させる仕組み、Z 世代の生活スタイルに馴染むグッズ展開など、新しい銀行体験を届ける数々のユニークな

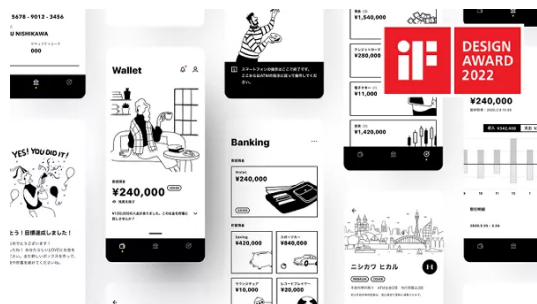
取り組みが特に「新規性」「ターゲットへの訴求力」「社会への影響力」「持続可能性」の点において高く評価されました。

Fjord Tokyo について詳しくはこちら

iF デザインアワードについて詳しくは[こちら](#)（外部サイト）

デザイナーによるみんなの銀行の詳しい紹介は[こちら](#)（外部サイト）

みんなの銀行の事例紹介は[こちら](#)



● Droga5 が支援した Amazon Music のキャンペーンが International ANDY を受賞

[アクセントチュア ソング](#) グループのクリエイティブエージェンシー[Droga5](#) が支援した Amazon Music の 2021 年ホリデーキャンペーン「ひらこう、音楽の世界を（Unbox a world of music）」が、国際的な広告賞 [International ANDY Awards（2021 年度）](#) の「Film Craft 部門」で受賞しました。

Amazon Music が届ける音楽の没入体験をホリデーシーズンに世界中の人々に楽しんでもらうために企画された本キャンペーンは、日本、アメリカ、イギリス、イタリア、スペイン、ブラジル、メキシコ含む各国に適切なクリエイティブを用意する形で Web 動画や屋外広告として世界同時展開。特に、多彩な音楽の世界を描くいきいきとしたアニメーションやパペット表現が評価されました。

Droga5 Tokyo について詳しくは[こちら](#)





Amazon Musi 楽の世界を c「ひらこう、音」ホリデーキャンペーン動画より

- UiPath Partner Awards 2021**

アクセンチュアは、UiPath 社との提案協業を積極的に行い、また、専門性の高い手厚く丁寧な対応でお客様との信頼関係を構築し、多くのお客様企業における UiPath の浸透に尽力したこと、また、2021 年は営業力・技術力の向上にも一層尽力した結果、多くの新規のお客様を獲得したことが評価され、「Best Revenue Growth」を受賞しました。

【先方からのコメント】

UiPath 社との共同提案を積極的に行い、また、手厚く丁寧な対応でお客様との信頼関係を構築され、多くのお客様企業における UiPath の浸透に尽力されました。また、2021 年は営業力・技術力の向上にも一層尽力された結果、多くの新規のお客様を獲得いただきました。

貴社におかれましては、弊社との緻密な連携、お客様への丁寧な提案やサポートを行っていただき、弊社と一丸となってお客様の成功を導いていただきました。また、デジタルツインでの活用や弊社が掲げる Fully Automated Enterprise としての活用、テスト自動化での活用など、弊社のビジョンとも合致したビジネス検討・推進を行っていただき、感謝申し上げます。



- **MuleSoft Partner of the Year Awards**

優れた成果や実績を挙げたパートナー企業に授与される MuleSoft Partner of the Year Awards において、アクセンチュアは 2 年連続で Mulesoft 2022 JAPAN Partner of the Year Award を受賞致しました。同時に、日本を含むアジアパシフィック地域においても Mulesoft 2022 JAPAC Partner of the Year を受賞、加えて Salesforce と Mulesoft の力を併せて、市場やクライアント企業に最も影響を与えた功績により、Mulesoft 2022 JAPAC Customer 360 Partner of the Year も受賞し、同地域における 3 冠を達成致しました。

MuleSoft Channels and Alliances- APJ Vice President Jim Fisher 様より下記コメントを頂戴しております。

【Jim Fisher 氏からのコメント】

The Customer 360 Award is for the Partner who does the most joint business with MuleSoft and Salesforce. Winning this award across all of Asia Pacific and Japan (APJ) is a great achievement and a strong signal of the close partnership that we have with Accenture.

The Partner of the Year Awards recognise the Partner who makes the greatest market impact in terms of business won and practice development for the MuleSoft business. Accenture has won the Japan award every year since MuleSoft entered the Japanese market and most exciting was the APJ win after Accenture were the fastest growing Partner in the prior year.

MuleSoft highly values our fantastic partnership with Accenture and is looking forward to even more success in the coming year - the MuleSoft leadership team would like to express our appreciation to the entire Accenture team.

Jim Fisher, Vice President - Channels and Alliances – APJ



• SAP Award of Excellence 2022

アクセンチュアは SAP ジャパン株式会社が SAP ソリューションの導入実績などで優れた実績を残したパートナー企業に授与するアワード「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022」で、以下の 4 つの賞を受賞しました。

詳しくは[こちら](#)。

<プロジェクト・アワード>

最優秀賞「プロジェクト・オブ・ザ・イヤー」

「アステラス製薬株式会社様：Apple Project」

授賞理由：アステラス製薬株式会社様はグローバル一体経営“One Astellas”を実現すべく、SAP S/4HANA®、SAP® Master Data Governance、SAP® SuccessFactors®、SAP® Ariba®、SAP® Concur®、SAP® Integrated Business Planning のフルモジュール・シングルインスタンスでオペレーション基盤を構築し米州、欧州、日本への展開を完了。これにより企業活動を可視化し、将来のビジネス機会やリスクを予測し、デジタル上での迅速な意思決定を可能にすることで、革新的な医療イノベーション創出に向けた取り組みを加速されていることを高く評価。

プロジェクトアワード受賞プロジェクトの紹介動画は[こちら](#)。

<SAP マイスターIQ>

SAP マイスターIQ は、SAP 関連システムの導入プロジェクトにおいて特に優れた成果を挙げられたという「功績」を称えるだけでなく、イノベーターとして新しい価値を創出し、お客様や社会へ将来にわたって寄与・貢献される「未来を創るマイスター」の称号と位置付け、今後の SAP プロジェクト推進の中核となられる人材を、審査に基づき個人に認定・表彰するものです。なお、“IQ”は「革新的なコトを成す資格を持つ者」を意味する“Innovation Qualifier”の略です。

受賞者：アクセンチュア株式会社 マネジング・ディレクター 和氣 光洋

<SAP Business Technology Platform チャンピオン>

SAP Business Technology Platform チャンピオンは、SAP Business Technology Platform（SAP BTP）を活用した開発・実装プロジェクトを通じて、お客様・社会における新たな価値創出に貢献された方、優れた開発実績や経験をもとに市場やコミュニティにおける SAP BTP の普及に貢献された技術者を、審査に基づき個人に認定・表彰するものです。

受賞者：アクセンチュア株式会社 シニア・マネジャー 宮脇 栄志

<Customer Success 部門>

「SAP Business Process Intelligence アワード」

授賞理由：SAP® Business Process Intelligence（BPI）によりお客様のデジタルトランスフォーメーション実現に向けた取り組みを強力に支援されたことを高く評価。



www.accenture.com/jp

Copyright © 2022 Accenture
All rights reserved.
Accenture and its logo are trademarks of Accenture.